

平成 27 年度第 1 回岩手県企業局経営評価委員会 議事録

次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶（菅原企業局長）
- 3 議 事
 - (1) 中期経営計画における平成 26 年度の実績について
 - (2) 平成 27 年度の取組について
 - ア 進行管理・評価スケジュールについて
 - イ 経営目標について
 - ウ 行動計画について
 - (3) 第 5 次中期経営計画の策定について
 - (4) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

出席者名簿

委員長	岩手大学工学部 教授	高木 浩一	
委 員	東北公営企業株式会社 代表取締役社長	柏 真喜子	
〃	いわて生活協同組合 常務理事	金子 成子	欠席
〃	佐々木経営システム研究所 中小企業診断士	佐々木 貢	
〃	株式会社浜銀総合研究所 シニアフェロー	佐藤 裕弥	
企業局	局長	菅原 伸夫	
〃	次長兼経営総務室長	新屋 浩二	
〃	技師長	中屋敷 暢	
〃	業務課 総括課長	千枝 泰航	
〃	施設総合管理所長	野崎 明裕	
〃	県南施設管理所長	細川 普基	
〃	経営総務室 管理課長	及川 立雄	
〃	経営総務室 主幹兼予算経理担当課長	千田 秀一	
〃	業務課 事業担当課長	佐藤 宗孝	
〃	業務課 電気課長	榮田 巖	
〃	業務課 技術主幹兼土木・施設担当課長	小田島 公一	
〃	業務課 発電所建設課長	野崎 裕	
事務局	経営総務室 経営企画課長	朝岡 薫	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	小野寺 重男	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	及川 達也	
〃	経営総務室 経営企画担当 主事	杉本 千春	

(委員 50 音順 敬称略)

(発言者)

(発言内容)

【開 会】

新屋次長

それでは、定刻になりましたので、ただいまから平成 27 年度第 1 回岩手県企業局経営評価委員会を開催いたします。本日暫時進行役を務めさせていただきます、次長兼経営総務室長の新屋でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、開会に先立ち、本日出席しております名簿記載の職員のうち、今年度の定期人事異動による新任の職員がございますので御紹介申し上げます。

まず、局長の菅原でございます。

次に、技師長の中屋敷でございます。

次に、業務課総括課長の千枝でございます。

次に、施設総合管理所長の野崎でございます。

次に、県南施設管理所長の細川でございます。

次に、経営総務室管理課長の及川でございます。

次に、経営総務室主幹兼予算経理担当課長の千田でございます。

次に、経営総務室経営企画課長の朝岡でございます。

以上、私を含め 9 名が新任でございます。よろしくをお願いいたします。

それでは、お手元の次第により進行して参りたいと存じます。開会に当たり、企業局長から御挨拶を申し上げます。

菅原局長

皆様には、本日は大変お忙しい中をお集まりいただき、ありがとうございます。私、本年の 4 月に企業局長を仰せつかりましたが、企業局は初めてということで、この 4 月から 18 ある発電所、それから 2 つの工業用水道を現地に参加しましていろいろ勉強しているところでございます。

企業局は、今年が創立してから 60 周年ということになります。これまで電気や工業用水の供給を通じて、県民の生活の向上や産業の振興に重要な役割を果たしてきております。

供給する電力量は、県内の一般家庭に例えますと、3 分の 1 に当たる 17 万世帯に相当いたしますし、工業用水も、北上工業団地と金ヶ崎にある岩手中部工業団地にある二つの団地の 18 の事業所の生産活動を支えているということでもあります。

先日、昨年度の決算概要を取りまとめまして、後ほど詳細については御説明申し上げますけれども、電気事業、工業用水道事業ともいずれもおかげさまで順調で、経常利益、純利益とも黒字を計上しているところでございます。今年度につきましても、電力と工業用水の安定供給に努めて、健全な経営と地域への貢献ということを重視して参りたいと思っております。

電気事業では、施設の年数がたっていますので、計画的に更新等の工事が必要となっていますし、一方では、新規開発ということで、高森高原の風力発電所を建設するため準備を進めているところでございます。

電力につきましては、皆様御承知のとおり、国で電力システム改革ということで様々な取組が進められつつあるわけですが、そうした大きな環境変化がございますので、その中で、岩手県の企業局もどうやって適切に対応したらよいかということをいろいろと模索しながら検討しているところでございまして、これもまた後ほど御説明しますが、次期中期経営計画の策定につきましても、こういった観点についても検討を進めながら経営計画を策定していきたいと思っております。

一方、工業用水につきましては、配管等が老朽化しておりますので、更新あるいは耐震化が重要となっておりますし、また、契約水量の大幅な増量が見込めない中、大変厳しい状況にあるわけですが、安定した経営に努めて参りたいと思っております。

本日の議題は、中期経営計画に関する昨年度の実績と本年度の取組についてということでございます。また、次期中期経営計画について、策定方法、あるいは検討事項について御説明させていただき、委員の皆様御意見を頂戴したいと思っております。委員の皆様には、様々な視点から御審議を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

新屋次長

なお、金子成子委員におかれましては、都合により欠席される旨御連絡をいただいております。それでは議事に入りたく存じます。

以降の議事進行につきましては、評価委員長である高木委員長、よろしくお願いいたします。

【議 事】

高木委員長

本日の議事ですが、その他を含めると 4 件となっております。一つ目は、中期経営計画における平成 26 年度の実績で、これは前回暫定評価で評価を出しておりますので、その後の取組について確認して、暫定評価のままとしてよいか、というのが主な議題となります。

後は、平成 27 年度の取組については、評価するためのフレームワークづくりとなるかと思えます。より取組をやりやすくするためにも忌憚のない意見を頂ければと思っております。

3 番目の第 5 次中期経営計画は、次の 4 年間の経営方針を立てようというものです。電力自由化に対して企業局の立ち位置はどうするかということは、県民の方の下支えをすることをミッションとすることは前回までで決まっていますので、これをどう経営計画に盛り込んでいくかというのが、ここで意見を頂きたい内容となっております。

早速、議事の一つ目、中期経営計画における平成 26 年度の実績について、説明を事務局からお願いします。

(1) 中期経営計画における平成 26 年度の実績について

議事に入る前に、経営総務室 千田主幹兼予算経理担当課長が下記資料を用い、平成 26 年度の決算概要について説明。

参考資料 1 平成 26 年度 決算概要

高木委員長 ただいまの説明について、何か質問はあるでしょうか。

佐々木委員 渴水準備引当金を取り崩して積立金として再計上するとのことですが、同額を計上するものなのでしょうか。

千田主幹兼予算経理担当課長 現在の引当金は積立限度額となっていますが、これと同額とするか増減するかは今後の検討課題です。

佐藤委員 電気事業会計決算で、純利益で 8 億円余の黒字決算となっておりますが、この数字の一部に会計制度の変更に関わるものがプラスの効果に表れていると思われま。こういった決算で、見かけ上今までと実態が変わらないのに数字が良くなったとき、電気の売電単価に影響はあるのでしょうか。

榮田電気課長 水力の供給料金に関しましては、東北電力と原価を協議しながら単価を改定していきます。ですから、今回の平成 26 年度で特別利益の計上があったからといって単価に影響はしないものです。

佐藤委員 この後中期経営計画で話は出てくると思いますが、このことで、電気事業の構造に影響を与えるものではないということですね。

榮田電気課長 そのとおりです。

佐々木委員 冒頭の局長のお話にも施設の老朽化が心配と話がありましたが、民間の水道料金も、老朽化のため、また、少子高齢化で水道料金を上げなければならないとの話もありますので、老朽化の備えとして、先ほどの修繕積立金の積み増しというものは可能なのでしょうか。

千枝業務課総括課長 工業用水道事業はかなり厳しい経営状態でありまして、従来、電気事業であれば渴水準備引当金や施設改良するための引当金が整備されていたのでありますが、工業用水についてはそういうものはありません。かなり厳しい状況ではございますが、そういう状況を踏まえ、10 ヶ年計画で施設の改良等を行っていく計画を立てております。その計画内で配管等の改良など計画的に取り進めることとしていますが、突発的な事故があれば大変なこともあろうかと思っております。

高木委員長 ほかはいかがでしょうか、よろしければ議事に入っていきます。

最初の議事は、「中期経営計画における平成 26 年度の実績について」ということで、資料は 1-1~1-3 までです。これは、既に暫定評価を一度行っていますので、暫定評価の後の変更点等ポイントを事務局から説明をお願いします。

経営総務室 朝岡経営企画課長が下記資料を用い、平成 26 年度中期経営計画における平成 26 年度の実績について説明

資料 1-1	平成 26 年度 経営評価総括表 (案)
資料 1-2	平成 26 年度 経営方針別管理・評価集計表 (案)
資料 1-3	平成 26 年度 行動計画 管理・評価区分表 (案)
	平成 26 年度 行動計画 管理・評価シート (案)

高木委員長 どうもありがとうございました。項目としてたくさんあるので、少し分けて議論していきたいと思います。まず、電気事業を中心に質問、意見を頂ければと思います。

暫定評価から変わった所は、達成率、供給電力、経常収支が大きな変更点かと思っています。

また、供給停止が 3 件から 4 件に増えた点、時間としては 1 時間程度であります。この辺りで意見を伺えればと思います。

佐々木委員 信頼性の 1 件については、3 月末に発生したということで残念ではありますが、その内容が軽微なものかどうかという評価も説明しなければいけない所も出てくると思います。同じ 1 件でも供給停止の時間が長く供給量が大幅に減った 1 件と、短時間で供給停止の量が多くならないというふうに、1 件の軽い重いということも出てくると思います。件数だけで年度比較を行うのは難しいところもあるし、供給量も減少したということも踏まえて、年度比較していただければと思います。

朝岡経営企画課長 今の話に関しまして、工業用水道の供給支障についても指標が 0.3 件となっておりまして、これは 3 年に 1 回発生したものを割ったということで、前回の評価委員会でもこの辺の所の評価を考えた方がいいという意見を賜っていたところでした。今の意見も併せまして、次期中期経営計画ではこの辺を何らかの形で評価できないか事務局で検討していきたいと思っています。

高木委員長 一度フレームができてしまうとなかなか変更するのは難しいものがあると思います。

電気事業につきましては、供給電力量の達成率も上がり、評価自体は暫定評価から改善されている形であり、経常収支比率も前回の値から上がっており、A A の基準を超えていますので、これはお認めしてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

高木委員長 それでは、電気事業は提案どおりの形で最終評価としたいと思います。工業用水はいかがでしょうか。耐震化率は目標 51%と書いてありますが、耐震化計画の目標が 53%ということで、実績に 53%という数値を入れたという説明だったと思います。

 経常収支は、実績が 111%から 119%に上がって、経常費用、経常利益が変わっている所であると思います。

 質問・意見を頂ければと思いますが、いかがでしょうか。

佐藤委員 経常収支比率で確認ですが、経常費用のうち、改良工事の完成が平成 27 年度に延びたということで、固定資産の除却損 5,400 万円が計上見送りということですが、これは 27 年度予算で執行ということでよろしいでしょうか。

千枝業務課総括
課長 はい。

佐藤委員 結果としては変わらないのですが、年度所属区分がずれたため数字が良くなったということであって、分析評価欄のコメントで、目標を「大幅に目標を上回り達成した」というコメントは違和感があります。

朝岡経営企画課
長 表現を修正します。

高木委員長 ここは、事務局で表現を検討するということでお願いします。そうしましたら、評価としては、暫定評価そのまま事務局提案どおりと認めてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし。

高木委員長 地域貢献につきまして、今回は数値が入っていなかった所に実績や達成率、後それぞれ下の方に数値を踏まえた評価という形で提案が行われています。これに関しても意見、質問を頂ければと思います。

柏委員 地域貢献については、目標 80%に対して実績 92%ということで達成度 AAになるということですが、100%を超えたら AA、90%を超えたら A とか、達成度の判定基準が項目によって違います。資料の最後に評価の方法というものはあるのですが、考え方に統一性を持たすことはできないのでしょうか。

朝岡経営企画課
長 この点については、昨年の評価委員会でも意見を賜った点でございまして、何かよい手法がないか検討しているところでございます。平成 27 年度、平成 26 年度の取組について、今この段階で変更するのは過去と比較

しにくくなると思ひまして、平成 27 年度まではこの方式としまして、次期計画では何らかの方法を検討していきたいと思ひております。

柏委員 全体的にパッと見て、100%というのがよいのか悪いのか分かりにくいと思ひます。誰が見ても分かるような表現が望ましいと思ひております。

高木委員長 基準を作り替えるのはそう難しいことではありませんが、そこに対する説明は必要になると思ひます。評価基準を分かりやすく、外の人が見てもパッと理解できるようにとのことです。少し検討いただければと思ひます。

朝岡経営企画課長 次期計画に向けて全体的に検討して参りたいと思ひます。

高木委員長 温室効果ガスの排出量の目標値というのは、どのように算定していたのでしょうか。

及川管理課長 平成 21 年度の数值から毎年 1%下げるといふ目標になっています。

高木委員長 わかりました。だんだんと厳しくなっていくということですね。ほかはよろしいでしょうか。なければ、評価としては提案どおりということでお認めしてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

高木委員長 それでは、暫定評価どおりということ、事務局の提案どおりの評価とします。いくつか提案がありましたので、その点については事務局で検討願ひます。

朝岡経営企画課長 了解しました。

高木委員長 次の議題は、「平成 27 年度の取組について」になります。最初は、「ア 進行管理・評価のスケジュールについて」ということで、事務局から説明を願ひします。

(2)平成 27 年度の取組について

ア 進行管理・評価スケジュールについて

経営総務室 朝岡経営企画課長が中期経営計画の平成 27 年度の進行管理・評価スケジュールについて説明

資料 2-1 平成 27 年度 中期経営計画（経営評価）の進行管理・評価スケジュール（案）

高木委員長 ありがとうございます。ただいまのスケジュールについて何か意見、質問があれば願ひします。

各委員 なし
高木委員長 それでは、次の「イ 経営目標について」、事務局から説明をお願いします。
ます。

(平成 27 年度の取組について)

イ 経営目標について

経営総務室 朝岡経営企画課長が中期経営計画の平成 27 年度の経営目標について説明

資料 2-2 平成 27 年度 中期経営計画経営目標 (案)

資料 2-3 平成 27 年度 経営評価総括表 (案)

資料 2-4 平成 27 年度 経営方針別管理・評価集計表 (案)

高木委員長 資料 2-2 について、中期経営目標は年度ごとに変わるのですね。

朝岡経営企画課 中期経営計画を策定したときに、将来を見越した値としていますので、
長 年度ごとに変わります。

高木委員長 太陽光、胆沢第三については、評価は行わないが項目は残すということ
でしょうか。

朝岡経営企画課 そのとおりです。後に説明します資料 2-5 では見え消しで記載されて
長 いますが、資料 2-3、2-4 では記載しません。

高木委員長 フレームワークは従来どおりのもので、少し項目が変わっている所があ
るので、そこを変更しているという形のもので、新しく加わっているもの
では、地域貢献の所の積立金の活用とか、ここは新しいもので、それ以外
は大きな変更はないと思います。何か質問、意見はありますか。

柏委員 5 ページの工業用水道事業の所で、まず、一つは、入畑ダムの水源転用
ということで、東北農政局への財産譲渡手続が延期という形で平成 26 年
度は終わっています。それをどういうふうに平成 27 年度に行うのか、目
途が立っているのでしょうか。

同じく、収入の確保について、未利用資産の活用については、平成 27
年度は処分が目途が立っているのか見込みを伺いたいと思います。

佐藤事業担当課 平成 26 年度に入畑ダムの堰堤改良工事が終わる予定でした。しかしな
長 がら、実際工事をやってみて年度内に終わりそうにないということがわか
りまして、平成 27 年度の繰越工事ということで本年度引き続き工事を
行っているところです。工事については、11 月頃までには終わると聞いてお
ります。

工事が完了しましたら速やかに改良工事の譲渡手続を進めていきたい
と思っております。5 月に相手方の東北農政局と打合せを行いまして、年
度内には全て終わるとスケジュールを確認しております。

柏委員 平成 26 年度に請け負った工事と請負額等の数字が全く変わらずに、平成 27 年度に終わるとのことですね。

佐藤事業担当課長 そうです。

千田主幹兼予算
経理担当課長 未利用資産の活用処分等については、工業用水資産の未利用資産としては、北上市の大堤に 1,600 m²程度の土地がありまして、昨年度入札等かけたのですが、大きな面積ということで買い手が現れなかったものです。
今年は、全部で 3 筆あるのですが、ちょうど真ん中で分けて 800~900 m²ぐらいの面積となりますが、分割して入札にかけたいと思っております。

柏委員 宅地分譲ということでしょうか。

千田主幹兼予算
経理担当課長 宅地です。小学校の近くでもあり条件は良いと思います。

柏委員 大きな土地一括であるということで、電気水道等引込みには費用がかかるのでしょうか。

千田主幹兼予算
経理担当課長 周辺が住宅地ということで、道路まではインフラはありますが、宅地分譲する際に引込みはしなければならないと思います。

柏委員 住宅地として売るとなっていますが、本当に売れるものなのでしょうか。

千田主幹兼予算
経理担当課長 今の時代、どんどん人が入ってきて住宅が建つという状況ではありませんが、この土地がある大堤辺りは住宅が張り付いているところでもありますので、少し期待はしているところで、今回買いやすいような区画としています。

柏委員 「餅は餅屋」というわけではありませんが、分筆したり宅地分譲したりお金がかかることですし、直接やるのもいいのですが、不動産業者等を利用して、早めに処分できればと思っています。
年度内に処分できる見込みがあるのでしょうか。

千田主幹兼予算
経理担当課長 不動産を介した売却も考えられますが、今回は買いやすいように区画を分けるなど、ある程度売れる見込みを高めてみて、まずやってみたいと思います。それで駄目な場合は、委員がおっしゃられたことも一つの選択肢になると思います

高木委員長 これぐらいの面積ならば売れるだろうとか、前もっての調査はどのよう
にやったのでしょうか。

千田主幹兼予算 周りの区画とかを参考としています。今までは大きい区画だったため、
経理担当課長 一般個人としては値も張るため手が出しにくいものでしたが、それを二つ
に分け、値段を下げて買い手を付けようとしています。

高木委員長 ほかはいかがでしょうか。

佐々木委員 会計基準の変更によって、貸借対照表をつくられるということですが、
これは一般的に公表されるものなののでしょうか

千田主幹兼予算 はい。9月議会で貸借対照表は公表することとしています。

経理担当課長

佐々木委員 9月以降は県民も見られるということでしょうか。

千田主幹兼予算 議会に提出しますので、一般にお見せするという状態になります。

経理担当課長

高木委員長 ほかはいかがでしょうか。

佐藤委員 7ページの組織力の向上で、(2) 地方公営企業会計制度の見直しへの対
応について、ぜひこの取組をしっかりとってほしいとのコメントをさせて
いただきます。

特に、全国的に初めての決算が終わって、今、決算書がおおむね出来上
がっています。こういう中で、新会計の対応が終わったと認識している所
が結構多いようですが、現実的には会計規程等まだまだ不十分という所が
全国的に多くみられますので、この取組目標は非常に適当であるというこ
とと、また、この成果が今から期待されるということコメントさせてい
たきます。

高木委員長 意見として参考にしていただければと思います。後はよろしいでしょう
か。それでは、次の議題に移りたいと思います。事務局から説明をお願い
します。

(平成 27 年度の取組について)

ウ 行動計画について

経営総務室 朝岡経営企画課長が中期経営計画の平成 27 年度の行動計画について説明

資料 2-5 平成 27 年度 行動計画 管理・評価区分表 (案)

平成 27 年度 行動計画 管理・評価シート (案)

資料 2-6 平成 27 年度 経営目標の評価基準について (案)

高木委員長 ありがとうございました。ただいまの説明に関して、質問、意見がござ

いましたらお願いします。基本的には今までのフレームを利用して、新しい取組を落とし込んだということになっています。

高木委員長 質問等ないようでしたら提案どおりということで、認めてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

高木委員長 そうしましたら、次の議題に移りたいと思います。説明を事務局からお願いします。

(3) 第 5 次中期経営計画の策定について

経営総務室 朝岡経営企画課長が第 5 次中期経営計画の策定について説明

参考資料 2 第 5 次中期経営計画の策定について

高木委員長 ありがとうございます。スケジュールとしては第 2 回評価委員会で案が出て、それに対しコメントを行い、その後パブコメ等で修正し、それを第 3 回目で議論することになると思います。

ここでは、検討するに当たって、検討項目とか考慮する事項について意見を頂ければと思います。

柏委員 今年 60 周年ということですが、何か特殊な事業は行うのでしょうか。

及川管理課長 60 周年記念事業としては主だったものはやらないことにしていますが、特に PR 関係に努めていきたいと考えております。これまで企業局がやってきたことや施設等をホームページやいろいろな媒体を使用することで、60 周年を PR していきたいと考えています。

柏委員 60 年の歩みをホームページで報告するなり、昔の時代にやってきたことなどを、例えば岩洞ダムの中にパネルを使って子供たちに見せるなどでしょうか。

及川管理課長 委員のおっしゃるとおり、その方向で考えています。

柏委員 PRということも大事な役割としてあるのですが、特例的にこのようなことを計画に目立つような形で入れることで、存続意義などが見えるようにしたら方が良いのではないかと思います。

朝岡経営企画課長 検討項目の中にある「計画期間における具体的取組内容」で、何かやるべきことはないか検討していきたいと思います。

- 高木委員長 60 年ということは重みがあるので何か活用したいと思います。ほかは何かあるでしょうか。
- 柏委員 岩手県国土強靱化地域計画というのは、具体的に企業局としてどういう関わりでどのように具現化できるものなののでしょうか。
- 朝岡経営企画課長 国土強靱化でございますが、いろいろな災害が発生したときに備えて計画を立てておくものです。企業局としては、電気事業、それから工業用水道事業とも特に地震に対する耐震化という所で関わって計画を立てているところです。
- 千枝業務課総括課長 私ども企業局としては、従来から説明していますが、配管の耐震化や古くなった発電所の導水路、土木施設が十分に修繕改良なされておられませんので、そこに取り組むことを従来からやっています。
特に、改めてこの計画のために耐震化計画を作り上げていくというよりは、従来の計画をしっかりとやっていくということで対応していきたいと思っています。
- 柏委員 先ほど、配管の耐震化計画が 57%という説明がありましたが、進捗状況のスピードを上げるというふうに見えたのですが、それとこの国土強靱化計画は現時点でリンクはしていないのですね。
- 千枝業務課総括課長 国土強靱化計画のために目標を高く設定することはしていません。私どもとしてもできれば計画の目標値を上げたいと思いますが、資金が十分ではなく、計画どおりに進めたいと思っています。ただ、工業用水道協会などを通じて耐震化の補助率を上げるような要望を行っておりますので、そのようなメニューができればそれに応じて我々の計画も前に進められるのではないかと考えております。
- 高木委員長 「県の各種計画の策定・見直し」については、これらを踏まえてどのように計画を検討するのでしょうか。
- 朝岡経営企画課長 これらの計画に関しては、それぞれ企業局も入って県全体として策定する計画となっており、ここには企業局に関わりのある計画を記載しています。地球温暖化対策については、新規水力開発とかそういう視点で関わっていますし、先ほど申しました国土強靱化計画については、配管の耐震化工事を県の計画と併せて行っています。また、公共施設等総合管理計画についても、企業局も一緒に推進していくという考え方です。
- 高木委員長 県に対して協力をしなければならない項目が並んでいて、それを考慮しながら中期計画を検討しなければならないということですね。

- 朝岡経営企画課長
柏委員
中期経営計画を策定実行するときにおいて、県の計画に企業局もしっかり入っているということを示していきたいと思っているものです。
各種計画への参画ということで、決定権は県の方にあるということであれば、策定という表現だと自分たち自らが行っているように見えますね。
- 朝岡経営企画課長
高木委員長
表現は修正いたします。
そのほかありますか。
- 佐々木委員
作成スケジュールが 1 年がかりで大変だと思いますが、今回の期間 4 年間で、その間は東北電力との基本契約を継続するということが前提ですが、この期間中に売電方法が変わればそこで新たに中期計画を作り直すのか、又は変更なのでしょうか。作るとしても、また 1 年がかりで作るのも大変だと思いますが、サブプランみたいなものは作るのでしょうか。
- 朝岡経営企画課長
経営環境が変われば長期経営方針、中期経営計画は作り直さなければならぬと考えていますが、サブプランを策定するかどうかは今後検討したいと思います。
- 千枝業務課総括課長
電気事業につきましては、今年度中に東北電力と 2 か年の需給契約を結びこととしておりますので、大幅な変更があるのは 3 年後ということになります。ですので、その前には何らかの検討をしなければならないと思っています。
- 高木委員長
ほかはいかがでしょうか
- 佐藤委員
要望ということですが、策定スケジュールは大変かと思いますがしっかりお願いしますということが一点。また、計画期間が 4 か年ということになりますが、事業の継続性、技術の継承の観点からは人の問題が大きなテーマとなってくると思いますので、今後、人の問題については 4 か年にとらわれることなく、長期的な展望をした上で策定してほしいということを要望としてお願いしたいと思います。
- 高木委員長
後、PR 関係がどこにも入っていないので、いかに情報を発信していくか、そこも少し検討していただければと思います。
- 朝岡経営企画課長
高木委員長
了解しました。
そのほかはよろしいでしょうか。いろいろ意見が出ていますので、その辺も含めて事務局で検討願います。
次にその他は、議題はありますか。

朝岡経営企画課 ごさいません。

長

高木委員長 なければ議事はこれで終わりとします。事務局から何かあればお願いします。

4 その他

事務局（経営総務室 及川主任）から次回の評価委員会等の日程を説明

高木委員長 そうしましたら、これで事務局が準備した議事は全て終了となります。議事進行に、また貴重な御意見をいろいろ頂きまして、ありがとうございました。

【 閉 会 】

新屋次長 どうもありがとうございました。閉会に当たり、局長から一言御礼を申し上げます。

菅原局長 本日は、熱心に御審議いただきましてありがとうございました。平成 26 年度の評価につきましては、御了承いただいたということでありありがとうございました。また、平成 27 年度の評価方法については、様々な御意見を頂きましたので、事務局でそれらについていろいろ検討しまして、やり方を工夫していきたいと思えます。

この評価結果をどう P D C A サイクルで回して、業務の効率化とか、組織を強化することとか、そういうことに向けていくか、また、当然動かすのは人でございますので、人材の養成といったことも重要ではないかと思っております。そういったことを通じて、最終的に経営改善に結びつけていきたいと思っております。

第 5 次中期経営計画につきましても、様々な御意見を頂きまして、ありがとうございました。実は、内部的には検討をしているのですが、まだ整理してお出しするような形になっておりません。今後、検討を加速して、次回にはお示しできるようにしたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

新屋次長 それでは、これをもちまして、平成 27 年度第 1 回岩手県企業局経営評価委員会を終了いたします。大変ありがとうございました。